

小学校との懇談会。担任の先生と夕食を一緒にして、子どもたちは大喜びです。



子ども達の良い面（可能性）を無限に引き出そう

園長 藤本光世

職員が盲腸で入院しました。お見舞いに行きたくて、様子を子どもたちに話すと、私たちもお見舞いに行きたいと言います。でも、子ども達は行けません。すると、何かお見舞いを上げようと言います。何が良いかな？と聞くと、お見舞いのメッセージを書きたいと言います。「私も書きたい」「私も書きたい」と大勢の子ども達が賛同してくれました。

2日経って、職員がこの季節に合わせて表紙をレイアウトし、内側には綺麗にメッセージカードを貼りつけて、お見舞いの見開きパンフレットを作ってくれました。それを持ってお見舞いに行くと入院中の職員に見せると、とってもとっても喜んでくれました。感動の様子が見てとれました。子ども達の優しく温かい心が届いたのです。私もその様子を見て、とっても嬉しく思いました。園に帰って子ども達に、とっても喜んでくれたよと話すと、みんな嬉しそうでした。

職員が退院して勤務に入ると、先生元気になった？と学校から帰った子ども達が大きな声でかけ寄ってきました。その子どもたちの姿も、嬉しいことでした。

母の日、父の日になりました。毎年、子ども達は職員に秘密で手作りのプレゼントを考え、作ってくれます。そこにメッセージカードを添えて。



今年は、新任の女性職員が泣いてしまったと聞きました。私も、目頭がぐっと熱くなり、やっところえました。子ども達の優しい心が私の心に響いたのでした。



子どもの良い面に光を当てよう。それを大きく伸ばしてやろう。

今年は、これが当園の骨太の方針です。どんな子も、良い所があります。無限の可能性がありま。こちらで限界をつくってはいけません。あの子はどうせ、この程度だからとてはいけません。生まれがこうだから仕方がない、と一瞬でも思っはいけません。心に浮かべてはいけません。子どもの無限の可能性を信じ、可能性が大きく拓くように支援してあげる。脇道にそれないように指導してあげる。それは、職員がどれくらいその子のことを思っているかです。職員にどれくらいその子の良さを見る目があるかです。確かな目でその子を見て、その子に対する思いの強さにより、子どもの良い面を見て伸ばしてあげれば、職員と子どもとの信頼関係が深まり、子どもたちはどんどんと良くなるでしょう。

ある子がピアノを習いたいと言います。別の子が書道を習いたいと言います。それなら園の生活のどんなことを頑張りますかと聞きます。大きな声の挨拶を頑張りたい。人にやさしくしてあげたい。子どもたちが自分から立派になろうとします。その姿が嬉しくて、それぞれピアノと書道の教室に見学に行かせてあげました。二人ともとっても楽しかったと帰ってきました。二人ともやれそうです。正式にそれぞれの教室に入れることにしました。子ども達が、習い事を通して、これなら誰にも負けないという誇りを持ったらどうでしょう。それはきっと生きる力になるのです。私はそう思っています。皆様から頂いた「おみやり」のご浄財がこのように生きます。子どもたちはもっともっと良くなります。見ていてください。

子どもの変化

副園長 青谷 幸治

先日、小学校との懇談会があり 30名もの先生方が当園に来ていただきました。小学生は先生方が来るのを心待ちしており目を輝かせていました。子どもたちの心が澄んできたように思いました。園内の生活では外部の方々との関わりは少なく人をもてなす機会もありません。しかし今回の懇談会の折りに先生方と一緒に夕食を囲み、夕食後に先生方一人一人に「温かいお茶と冷たいお茶どちらがいいですか？」と小学生の女の子と中学生の女の子が声をかけ、お茶を持っていく姿に自然と人への優しさや思いやりを感じる事ができました。また先生方が帰った後、一人でもくもくとスリッパを片付ける小5の男の子の様子を見るといつも目立たなくとも人のやらない細かい部分を一生懸命やる姿を見て大きな成長を感じました。

今年度に入り、中高生も2度ほどテストがありました。ある子は60点アップ、ある子は90点アップ、ある子は5教科で400点を超える等、学習に取り組み努力し続けたぶん結果につながり更にやる気をだして次の目標に向かって取り組んでいます。

なぜ今、心が育ち学力が向上する子が増えたのか？規則正しい生活（日課）を通して、何に対しても手を抜かず、一生懸命に取り組む習慣がいろんな場面で結果として出ることによって子どもの自信になってきました。「僕も大きな夢をもっていいんだ」「私は将来は絶対に〇〇になりたい」と自信をもって言える子どもたちが増えました。心が育ち、大きな夢や目標を持てるようになると自然と学

習にも力が入り学力が上がると園長先生に言われ、まさに子どもたちの実践が結果として現れています。

今年度から小学生を中心に習い事（柔道、体操教室、ピアノ、書道、スイミングなど）に積極的に参加し、自分だけの特別な時間を過ごし、特技として身につけることで更なる自信につなげたいと思い取り組み始めています。ここまでの道のりは長く苦労がありましたが、私たち職員の姿勢や思いが子どもたちに通じてきたと思います。しかしこれからも油断せず、また学力だけ上がれば良いのではなく心の成長を第一に考え、そして学力の向上と卒園後の進路につながる結果をだせるように子どもたちと関わっていきたいと思います。

写生大会

園長 藤本光世

6月13日（土）に科野の森歴史公園と將軍塚に写生に行きました。現地までは小学校高学年以上は自転車、低学年以下の児童は車です。

昨年までの写生大会は、川中島合戦史跡の八幡原でした。愛育園からは土手の上を自転車専用道路で行くことができました。科野の森歴史公園への道は、一般道ですので大勢の自転車隊が事故なく、交通の妨げにならずに進む道があるかが不安でした。でも、車道と分離した自転車道や、車は殆ど通行しない農道が公園まで続いて、気持ちよく自転車を走らせることができました。



公園では、それぞれが好きなスポットを選び、好きな画材を使って写生です。私はというと、少し遅れてついて、その後は幼児さんが「園長先生来た」と寄って来て、後は幼児さんのお相手です。絵具を指に付けて、デザイナーさながらの絵が出来ました。



お昼になると、調理の先生方が心をこめて作ってくれたおにぎりを頬張ります。その後は、ドッジボール大会や、尻尾とりゲームで職員と子どもが闘いました。ドッジボールは、職員が勝ちましたが、尻尾とりゲームは子どもの完勝で、改めて子どものすばしっこさとエネルギーに驚かされました。

その後、將軍塚に登りました。年少さんも手を引かれて元気に登りました。將軍塚では視界

が開けて、眼下の早苗が植わった水田が綺麗で、遠くには円福寺愛育園の建物も見えました。

みんなが楽しんだ行事になりました。また来年行こうね。

児童感想

写生大会では、博物館の絵を描きました。鉛筆で影をつけて完成させました。



絵を描き終えた後は、ドッジボールやしっぽトリゲームをしました。全力を出しすぎて疲れてしまいました。その後は、博物館にも入って、昔の土器や建物を見ました。

最後に、森將軍塚古墳の上まで行きました。山登りはきつかったけど、達成感がありました。また、来年もやりたいです。 (高1 H,S)

写生大会で絵を描きました。テントの絵を描きました。お昼ご飯を食べた後は、先生チームと子供チームでやりました。僕は、最初負けると思いました。でも勝ちました。嬉しかったです。その後、博物館に行きました。ナウマンゾウが見れました。楽しかったです。 (小2 N,R)



13日に写生大会がありました。今回は八幡原ではなく、森將軍塚に行きました。初めて森將軍塚で写生大会をやるのでわくわくしていました。森將軍塚までは自転車で行きました。約20分間自転車掛け、行けるか心配だったけど、頑張りました。目的地に着き絵を描きました。私は昔の家やその周りがある森林を描きました。家を描くにはとても苦労しました。絵を描きながらも一番印象に残った事は、昔の人の家は木やわらを使って家が建てられ、昔の日本と現在の日本では全然違う生活をしていてすごい発達だな～と感じました。午前中絵を描き、みんなで昼ご飯を食べました。みんなで協力して盛り付けなどをしていて、私ももっとみんなの為に何か手伝えればよかったな～と思いました。午後は古墳に登りました。急な坂道もあり、疲れしました。でも登りきった後の景色はすごくきれいでした。 (中1 Y・O)

母の日の会 あおぞらホーム長 富沢正樹

5月10日、母の日の会を行いました。子ども達から女性職員に日頃の感謝を込めて、プレゼントを送りました。今年は、カーネーションの造花で「カーネーションポードル」を作りました。更に、手作りの芳香剤も作って、その二つをカゴに入れてプレゼントしました。



普段、直接かかわる事の多い、まごころホームの女の子たちは、先生達を喜ばせようと、細かく手間のかかる作業を一生懸命にやっていて、素晴らしいプレゼントが出来上がりました。

母の日当日、プレゼントにメッセージカードを添えて女性職員に渡すと、とても喜んでくれて、子ども達も先生達の喜ぶ顔を見て嬉しそうでした。新任の先生は、思いがけないプレゼントに感激して涙していました。

メッセージカードも、とても素敵なものでした。「いつも悩みを聞いてくれてありがとう」「おそうじとおせんたくしてくれてありがとう」「いつもおいしいご飯ありがとう」そんな感謝の言葉を書き綴られていて、恥ずかしがらずに素直な気持ちを伝えることが出来るようになりました。

カーネーションの花言葉は「愛情」。今後も職員一同、子ども達の感謝の気持ちを汲み取りながら支援を続けていきたいと思えます。

父の日 まごころ・そよかぜホーム長 石崎早織

毎年父の日が近づいてくると、子ども達と今回はどんなプレゼントにしようか、という話題になります。日常生活で使える物をプレゼントしたいと考え、子ども達と案を出し合い今年は手作りモップをプレゼントすることになりました。ハンガーを折り曲げ、その周りに毛糸を編む……。とても細かな作業でしたが、中高生女子が中心となり心を込めて作ってくれました。また子ども達のメッセージも今年は卓上カレンダーの中にメッセージを書いて、常に見える形にしようという職員からの提案もあり、小学生が中心に飾り付けなど一生懸命やってくれました。

父の日当日。先生方にプレゼントを渡すととても喜んで貰え、子ども達も先生方の喜んでる顔を見てとても嬉しそうにしていました。



通明小学校との懇談会

今年度も通明小学校との懇談会がありました。お忙しい中たくさんの先生方に来ていただき、小学生の園での様子を見ていただきました。当日朝から「今日学校の先生来てくれる日だよ！」と楽しみにしていた子ども達。担任の先生の姿が見えると、照れくさそうにしていたり、いつも以上に張り切って取り組む姿勢を見せたりと、とても嬉しそうにしていました。

懇談会では、普段園では見せないような姿を知ることができ、よく頑張っているなど感心しました。お参りにも参加していただき、また、夕食も一緒に食べていただきました。今年 1 年生になった M さん、T さんは普段はとてもわいわい楽しく食事をとっているのですが、この日は「恥ずかしいの・・・」と静かに食べる意外な一面も。しかし、お見送りの時は元気に手を振っていました。短い時間でしたが、有意義な時間を過ごすことができました。

わいわいカルビさんの招待がありました！

今年もわいわいカルビさんからご招待があり、愛育園の児童と職員でわいわいカルビさんにお世話になりました。子ども達はこの日を楽しみに待っており、毎日を頑張ってきました。実際にわいわいカルビさんに到着すると、しっかりと挨拶ができ中に入って行く子ども達。「こんにちは」、「ありがとうございます」と当たり前ですが、それが子ども達から自然に出てくる姿に感心しました。わいわいカルビさんからいただく美味しいお肉を皆で焼いて食べて、お腹も満たされてきた頃、今年も長野パルセイロさんが来てくれました。子ども達は毎年長野パルセイロさんが来るのも楽しみにしていてサインをもらったり、一緒に焼肉をして楽しい一時を過ごすことができました。

美味しいお肉をいただいた後、テーブルの上を自分達で片付け始める子どもがいました。食べた食器を重ねて、退室する時もお世話になったわいわいカルビさんの店員さん、長野パルセイロさんにしっかりとお礼の言葉を言える所に成長を感じる瞬間でした。

毎年ご招待していただいているわいわいカルビの皆さん、長野パルセイロの皆さん、美味しいお



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

肉と楽しいお食事会を開いていただき、ありがとうございました。

学習指導 2 か月

学習担当 矢吹亜依

この春から円福寺愛育園にて子どもたちと生活させていただくことになりました、矢吹亜依と申します。学習担当として、学習を通して子どもたちと関わらせていただいております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

一日が終わりに近づいていく夕方の時間、「ただいま！」と大きな声とともにまず玄関に飛び込んでくるのは、小学校 1 年生の女の子 2 人。「今日のおやつ何!？」「今日学校でね…」。「口々に学校での様子を教えてくれながらおやつを口に詰め込むと、先を争うように談話室へと駆けていきます。出された宿題に真剣な表情で取り組む 2 人を見ていれば、その背後で次々に聞こえる「ただいま!!」の元気な声。今日も無事に帰ってきたな、とほっとしながら「宿題もついで！」と声をかければ、満面の笑みで頷く子、ちょっと嫌そうな顔をしている子、「先生今日わかんないといっぱいある…」と不安そうな子。それぞれが様々な気持ちで、それでも必ず談話室へと集まってきます。

自分自身、小学校の時にこんなにも真剣に学習に取り組んだことがあったらどうか…と少し恥ずかしくなりながら、子どもたちが思い思いに取り組む宿題を見ます。漢字練習、算数のプリント、日記、音読…。様々な課題、分からないポイントも様々です。「分からない!」「もうやだ!」そんな大声が聞こえる時もありますが、全員が一生懸命に宿題を終わらせて「ありがとうございました」と言いながら談話室から駆け出していく。その後姿を見ていると、なんだか嬉しくなります。

夕食を終え、煌々と明かりのともった談話室にまずやってくるのは中学生の女子。その後もホームの職員に声をかけられながら続々と集まる中高生たち。小学生よりも静かに、そして真剣な表情で課題やテスト勉強に向き合っています。

感心しながらその姿を眺めていけば、「先生、ここ分かんない」。夕方よりも格段に難易度の上だった問題に内心冷や汗をかきつつ、なんとか解説すると「ありがとう」と嬉しそうな笑顔。その期を逃さず「漢字テストしようか」と告げれば「いやいやいや」とごまかし笑いに早変わり。それでも素直にペンを持ち替え、時には自分から「先生もう 1 枚」と言ってくる彼らの努力は、テスト成績の上昇という確かな成果になって返ってきています。そして今年も 2 人の高校受験生が自分の現在と進路を真剣に考え、それぞれの目標に向かって更なる努力を重ねています。

遊びたい盛りの小学生、難易度の上がる学習に悲鳴を上げる中学生、部活にバイトと日々忙しく過ごす高校生。それぞれが重ねる努力のために私自身も努力していかねば、と問題集を開いては自分の学力の低下に愕然とする今日この頃です。子どもたちと共に努力を重ね、子どもたちの努力の支えとなっていけるよう、今後も精進していきたいと思っております。

小学生女子卓球練習 2 ヶ月が過ぎて

小学生女子卓球監督 上原美恵子

球技大会発足式から早 2 ヶ月が経ちました。今年度の練習メニューはランニング、準備体操、素振り、球上げ、その後低学年はサーブ、レシーブ練習を行い、高学年はラリーを中心に行っていま

(平成 27 年 7 月 10 日発行 月刊「円福」467 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可)

す。初めて卓球を経験する一年生も少しずつ球上げが出来るようになってきたり、自分なりにサーブを工夫して打てるようになってきています。二年生は昨年と比べて落ち着いて練習に参加していて、少しラリーが出来る子も出てきています。高学年は強い球ですぐに勝負を決めたいという傾向がありましたが、やはりなんと言ってもコントロールが大切ですので、とにかくラリーが続けられるようになるよう話しをしています。レシーブを失敗してしまったら打ち方の何がいけなかったのか、一本一本考えながらプレーするように声掛けをしています。

恥ずかしながら私は監督と言っても卓球に関しては全くの素人で、練習に関しても殆ど手探り状態でしたので、今年度は園長先生にお願いして DVD と教本を購入していただきました。早速子供たちと DVD を観てみると、プロの選手たちの正確なプレーに皆感心していてそれぞれ自分なりの目標とするスタイルがイメージ出来たのではと感じました。

大会まで後残すところ約一ヶ月となりました。本格的な夏を迎えますので、体調管理に気をつけながら精一杯練習に励んでいきたいと思っております。

～中高生女子 卓球練習の様子～

中高生卓球 監督 石崎 早織

5 月から球技大会に向けての練習が始まり、早いもので 2 カ月経とうとしています。今年のメンバーは 7 名。そのうち 2 名が未経験者もおり、どのように練習を進めていこうか、キャプテンと相談しながら現在も練習を行っています。今年はずっと一度基礎からしっかりとやりたいという思いもありましたので、5 月はひたすらラリーの練習のみをやってきました。1 ヶ月間同じ練習のみだった為、子ども達もだらけてしまうかな、、、と心配はありましたが、みんなまじめに取り組んでくれ、もっとうまくやりたいという気持ちを持って練習に臨んでくれていますので、日に日に上達が見られ、子ども達もそれを自分で感じる事が出来ているようです。

最近の練習の中でこんな出来事がありました。フォアーのラリーが 10 往復出来たペアから次の練習に進んでいくよう声をかけ、子ども達も真剣にラリーが続くよう頑張っておりました。でもあるペアだけなかなかラリーが続かず次の練習に進めません。30 分やっていましたが目標を達成することが出来ず、子どもも悔しいのか、涙を流す姿があり、「ここで終わりにする？」と私が聞くと「最後までやる」と子どもから返事が返ってきたので、様子を見守りました。それから 10 分後、目標を達成することができ、その瞬間子どもは涙を流していました。嬉しかった気持ちや、悔しかった気持ちが一気に出たのだと思います。最後までやり遂げた時の気持ちを少しでも子どもに感じてほしい。それをこの球技大会の練習で私は子どもにも教えたいと考えていました。練習の様子を見ていると、みんなで励ましたり、準備も皆で協力して取り組んでおり、とてもよい雰囲気の中練習に取り組んでいます。確かに技術を見磨くことも大切ですが、自分の事だけでなく、周りの人を思いやる気持ちが少しずつ持ってきていることが、見てわかるようになってきました。練習だけ一生懸命やるのではなく、日々の生活をしっかり送ること、相手を思いやりながら練習できるようになると 5 月上旬に子ども達に伝えました。この事が子ども達に少しでも伝わっているのだ

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

と感じる事ができ、嬉しく思います。球技大会まで残り1か月！！最後まで集中して取り組み、いい結果が残せるよう頑張りたいと思います。

野球練習2ヶ月が過ぎて

野球監督 酒井悠紀

4月末からスタートした球技大会野球練習も2ヶ月が過ぎました。

梅雨真っ最中の今、雨によって練習が中断・中止されることが多く、子ども達も少々不満げな表情の日々が続いています。

キャッチボールにバッティング、ノックなど、子ども達は日々練習に明け暮れています。2ヶ月前、走り込みを始めた頃、キャッチボールすら出来なかった子が、今ではキャッチボールが出来るようになったり、ストライクが全く入らず、むしろキャッチャーまで届かなかった小学生投手がストライクを投げられるようになったり、ここ最近の成長は素晴らしいと思います。打つのは苦手だけどゴロを捕るのは上手な子、逆に打つのは上手だけど、ゴロを捕るのは苦手な子、長所、短所にもしっかり向き合い練習をしていかななくてはなりません。まだまだ足りない部分が多く、これから試合に向け技術の向上を図って行きたいと思います。

また、2ヶ月の練習の中で、自分自身が指導できていない部分が多く見え始めました。監督として、野球をしている者として、もっともっと謙虚に、かつ貪欲に野球を通じて子ども達に技術プラス精神を伝えていこうと思います。

残り1ヶ月、ラストスパートをかけ、大会では子ども達とともに勝利をつかめるように頑張りたいと思います。

あおぞらホームだより 7月

保育士 石黒玄章

梅雨空に負けず、あおぞらホームの子ども達は元気に生活しております。

子ども達は、学校や園での行事など自分の持てる力を発揮し活躍する中、園長先生は更に子ども達の成長を願い、園外での習い事を本人の希望に合わせ積極的に参加するようになりました。今までの少年野球の他に、まず柔道と体操教室に子供が通いだしました。日常、園を中心に生活している子供が外で活動することは余りないため、自分の理想と現実の中戸惑う様子も見受けられましたが、そこは子供です。直ぐに順応し、今では活動日を待ち焦がれている様子がとても嬉しく感じられます。中学3年生や高校3年生は卒業後の進路に向けて、受験勉強や、就職に向けての実習など具体的な活動も始まってきました。夏本番に向けて行事もますます増えてきます。子ども達は、沢山の笑みを作る事と思います

まごころ・そよかぜホームだより

保育士 竹田悠希

梅雨に入りましたが、子どもたちは元気よく登校しています。1学期も1ヶ月をきりましたが、あっという間であったなと思います。

最近では、子どもたちのなかで「あれがしたい」「これがしたい」と習い事の話がたくさん出ています。子どもたち一人一人に、なにか一つでも興味の持てることであったり、真剣に取り組める

(平成27年7月10日発行 月刊「円福」467号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

ものがあると、夢を持つということに繋がるのかなと思います。そういった子ども一人一人の可能性を早く気付けるようになりたいです。まずは勉強や日課が疎かにならないよう、よく見ていきたいです。また日々の卓球の練習に力がついてきた子どもたち。練習当初との顔つきはそれぞれ変わってきており、最近では真剣なまなざしで取り組んでいます。体調管理に気をつけながら生活していきたいです。

調理室だより

うっとうしい梅雨に入りました。

6月7日 小学校の運動会で15個のベイマックスのキャラ弁に挑戦しました。お弁当のふたを開けた時の子どもたちの「わぁー」と喜んでくれる顔を思い浮かべながら作りました。帰って来ると「お弁当ありがとう」の声にニコリです。

6月13日 写生大会で、120戸のおにぎり、唐揚げ、卵焼き、ウインナーチーズ、漬物、お菓子を用意し9時半に出発しました。

6月17日 小学校の懇談会があり17名の先生が夕食を同席してくださいました。子どもたちの横にはそれぞれの担任の先生が入ってくださり、とても嬉しそうな表情で素晴らしい時間でした。

今月の誕生日の子は2名で、誕生日メニュー（リクエストメニュー）になります。

愛育園の職員になって

愛育園で栄養士兼調理員として働かせていただいてから早いもので3ヶ月が経ちました。今年の3月までは専門学生でありましたので、緊張と不安がありつつも社会人として自分自身の言動に責任を持ち、新たな気持ちで業務に励んでいきたいと思いました。

食事の時間や施設行事等を通して、子どもたちと関わる事が多くなり、私としても楽しく、何よりうれしさがあふれてきます。毎日のように子どもたちから大きなパワーをもらい、よりいっそう私の活力となります。

まだまだ未熟者ではありますが、子どもたちが日々の食事を楽しんでもらえるように、子どもたちの喜ぶ顔を思い浮かべながら調理の先生方とともに協力して献立作成や食事作りをしていきたいです。子どもたちの食育のためにも努力しつつ「調理は愛なり」の言葉を心に刻み精一杯勤めさせていただきます。

社会人1年目で、まだ分からないことも多々あると思いますが、愛育園でさまざまなことを学んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。

調理員 宮澤まき江



栄養士兼調理員 原 未華



園内保育だよ!



日中は暑く、夕方や夜になると雨が降るとい、まるで夏のような日が続きました。
そんな不安定な天候の中、園内保育の子どもたちはお休みの日も、毎日元気に登園しています。
朝の登園時には、「おはよう!」「おはようございます!」と、大きな声で気持ちのよい挨拶が
できるようになりました。☆



・今年もプールの季節が近づいて来ると、子ども達から「いつからプール
が始まるの〜?」という声がたくさん聞かれ、今が今かと楽しみに
している姿が見られました。そんな中 6月18日にプール開きを
行い、何や事故がないよう園長先生と一緒にお参りをしました。
またその中で「みんなプール活動に向けて目標を達成してあげよう!!」
「イルカのように泳げるようになりたい!!」「サメのように速く
泳げるようになりたい!!」「ワニさん歩きを元張りしたい!!」
と、天気に鬼まわすプール活動も本格的にスタートできいせんが、
みんなの目標が達成できるようにたくさん練習をしていきたいと思います。
☆

- 7月のわらい
- ・七夕の活動を通して、短冊に願いをこめたり、飾り
作りを楽しんだり、七夕という行事を学ぶ。
 - ・約束事を守り、プール遊びを思いきり楽しむ。
- 7月の行事
- ・七夕
 - ・七夕焼き
 - ・市民プール利用
 - ・1学期終業式



「いらっしゃいませ〜!
ジュースはいかがですか!？」

6月の昼間は暑い日が続きました。でも、プールに入らず(お水温は上がりません)夜間に
降った雨をきいて水たまりを喜んで遊ぶ子どもたちの姿を見て、「そうだ!色水遊びをしよう!」と、
いうことになりました。

今回は色水遊びの初回だったので、色々な色が出やすいように、保育者側が使う色を「赤」「青」
「黄」「白」の4色に設定しました。まずは、単色から色水を作ります。「イチゴジュースができた!」「カル
ピスだ!」と、おいしそうにジュースがたくさんできました。次に、できた色水同士を混ぜ合わせると、最初
はおいしそうに色は出来ましたが、全部混ぜるとは... 色が最後は、2色の色の具を使
って色水を作ると、単色ではなかった、オレンジジュースや
しょうゆ草ジュースなどに驚く子どもたち。色を混ぜると別の
色になるという発見もありました。



畑のお世話、頑張っています
サツマイモの苗植えをしました。今
週は草取りをするので、畑の
お世話をよく頑張っています。
えらい!!

途中、園長先生や傳田先生がお話をしたり、お客さんにな
って下さったので、大喜びの子どもたちでした。♪

あじさい製作 6/3 (水)

「雨が降ると喜ぶ物、ってなんだ?」と子どもたちに
聞くと、「カエル!」「きゅうり!」「おはな!」と次々に答えが返ってきました。
「では、雨が沢山降る梅雨の時期に咲くきれいなお花はなんだ?」と聞くと、
「ひまわり?」「アサガオ?」と少し自信なさげな返答。「あじさい、というお花
があるんだよ」と教えると「どんな花かな」と図鑑を持ち出して調べ始め
ました。おはなはなんだ!」「色もいろいろある!」「小さい花が集まって丸く
なるよ!」と色々発見しました。早速、折り紙を使って作ります。小さい花が
沢山、年中、年長児は一人約30個の花を作りました。色々並べ方も
様々。どれも素敵な作品になりました。



しぼん玉 6/11 (木)にしぼん玉遊びをしました。

小さいもの、色々なしぼん玉ができて、子どもたちは大喜び。この日は、更に遊びを
発展させ、液に絵の具を混ぜて色付きのしぼん玉を作りました。白い画用紙に向か
て吹くと、ふくらんだり、はじけたりする様子がよく見え、一味違うしぼん玉の楽しさを味わいました。